一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は22人の議員が質問に立ち、48項目について行政の対応を質(ただ)しました。掲載内容は、その要約です。　※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。

- ➢第２回定例会の会議録は、8月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。
- ➢会議録検索システムは、8月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議および常任・特別委員会の様子を市議会のホームページからご覧ください。

- ➢開催日に生中継を配信します。
- ➢録画中継は、本会議当日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から配信します。
- ➢スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

1 米内さとし（日野みらい）

ひとり親家庭等への支援の実態把握と、必要な人へ支援を届ける仕組みについて

問 制度改正後の養育費確保支援の認識を問う。

答 実際に養育費を受け取るまでの支援や、履行確保支援の重要性が高まると考えています。

仕事と介護を支えるビジネスケアラーへの支援について

問 ビジネスケアラーが求める支援内容や課題の把握について問う。

答 企業や商工会を通じた情報発信などによりアプローチを工夫します。

ふるさと納税の商品力向上と戦略的な財源確保について

問 専門人材やデータ分析を生かした返礼品の開発について問う。

答 ＥＣサイトの分析からはじめ、先進事例を参考に調査研究します。

2 鈴木洋子（自民党日野市議団と維新の会）

少子高齢化、人口減少でも市民生活向上を柱に発展のまちへ

問 さまざまな世代が暮らしやすい環境を整えるために、どのようなまちづくりを進めているのか。

答 今後さらに多様化する社会において、地域特性に応じ、それぞれのよさを生かしてバランスの取れたまちづくりを進めます。

選ばれるまちへ～自主財源増の仕掛けをシティセールスで

問 民間ノウハウを生かしたシティセールスの取り組みについて、市の見解を問う。

答 令和８年度の市ホームページリニューアルにて、民間では一般化しているデータマーケティングのツールを導入し、インターネットを利用する幅広い層をターゲットに、全庁的なシティプロモーションを推進します。

3 伊藤あゆみ（自民党日野市議団と維新の会）

包括的性教育の一環であるプレコンセプションケアを学校に導入するために

問 プレコンセプションケアの実施に向けた課題と対応を問う。

答 学習指導要綱に含まれていない表現の配慮や適切な情報提供、児童・生徒や保護者の理解を十分に得ること、信頼関係の確立などへの配慮が課題ですが、本市においても取り組むことができると考えます。

日野市国民保護計画－命と都市機能を守る危機管理体制の構築－

問 自衛隊などとの広域連携について問う。

答 災害時に情報共有と人員などの最適配分を行い、迅速かつ広域な支援、救助を可能にするために重要です。今後も連携を強化し、広域受援体制の充実を図ります。

4 町田ゆい（日野みらい）

「頑張るごみ減量」から「続けられる循環」へ

問 第三次ごみゼロプランとごみ排出量少なさ３年連続1位の評価を問う。

答 プラン最重要目標の１人１日当たりごみ排出量は達成見込みであり、市民の取り組みの積み重ねと認識しております。

問 時代や生活形態に応じたペットボトルなどの回収ルール変更を問う。

答 プラスチック・スマート宣言の市として取り組み、時代や生活に合うシステムを研究します。

応援されるまちを目指した「企業版関係人口づくり」について

問 企業版関係人口推進のため、全庁で地域課題に取り組む体制を問う。

答 職員一人ひとりが企業や地域、大学などと対話し、地域課題解決につなげる組織を目指します。

5 新井ともはる（無会派）

「家は残ったが現金がない？」住まいの終活、誰に相談すればいいの？実家の未来を支える終活登録制度と終活相談窓口

問 出口戦略としての市の不動産流通制度を問う。

答 市が所有者と不動産事業者の間に入り、最大５社から無料で見積もりを取得できるもので、市内事業者とともに創り上げてきた制度です。

問 定期的な筋肉量測定の体制構築について問う。

答 市民の森ふれあいホールとフクシ・エンタープライズ南平アリーナのトレーニングルームに体組成計を設置しており、定期的な測定が可能です。

あなたの筋肉、今いくつ？転ぶ前に！歩行困難になる前に！高齢者を守る。筋力低下を数値で発見する新たな健康チェックを

6 窪田知子（公明党）

市民が求める市立病院に向け、抜本的改革を求める！

問 診療報酬改定にあたり、急性期と地域包括ケアを組み合わせたケアミックス型への認識を問う。

答 入院基本料の区分で最も点数が高い急性期病院Ａの届け出を行っており、その基準を満たせない場合の選択肢と考えますが、状況の変化に柔軟に対応していかなければならない認識です。

持続可能な地域公共交通の実現に向け、市の取組を問う

問 医療、介護と交通の連携促進に向けた認識を問う。

答 国が提唱する多分野連携による地域輸送資源のフル活用の視点も含め、福祉や民間のリソースを結ぶ官民連携と地域住民による互助共助の取り組みへの力強い後押しが不可欠と考えます。

7 吉澤あかね（創る会）

ＨＰＶワクチン接種再開後の安全性と情報提供について

問 情報提供のあり方について認識を問う。

答 最新情報を基に、接種への正しい判断ができるよう、目的と有益性、副反応などについて適切な周知啓発に努めます。

日野らしい景観を守るまちづくりについて

問 市が主体的姿勢を示すべきではないか。

答 景観は未来へ引き継ぐ財産であり、経済活動とのバランスを踏まえ保全手法を検討する必要がある認識です。

バニラＶｉｓａギフトカードに対する市民からの声と利用支援について

問 利用支援を問う。

答 利用の進まない年代や、地域に焦点を当てた促進策を講じます。

8 西野正人（無会派）

市政における物価高対策について問う

問 ギフトカード配布による経済波及効果を問う。

答 店舗利用の可否などアンケート調査を行っており、市ホームページなどでの結果活用により、市内利用促進を図ります。

問 市内農業における物価高対策について問う。

答 農業物価統計により生産コストが増加していることを把握しており、光熱費を対象とした支援金を予定しています。今後もデータなどによる確認のほか、農業者やＪＡなど関係者のご意見を伺いながら、支援策を検討します。

問 市の一般財源による今後の独自支援策を問う。

答 市の補正予算事業と対象範囲が重複している都の補正予算案が議決され、財源が別に活用できるようであれば、追加の施策を早急に検討し、展開します。

9 伊東秀章（自民党日野市議団と維新の会）

動物施策の課題

問 多頭飼育崩壊を早期に発見、介入できる体制の構築について問う。

答 飼養環境の悪化のみならず、生活困窮や社会的孤立などの福祉的課題を背景としている場合もあることから、庁内連携体制の構築及び情報共有の円滑化を図ります。

行政評価（事業評価）について

問 ６次行革と行政評価の違いを問う。

答 ６次行革は行財政運営全体に係る改革、行政評価は個別事業の改善、検証という違いがあります。

問 全事業評価実施について市の認識を問う。

答 全ての事業の一律公表を目的とするのではなく、取り組むべき施策や事業の現状や成果、課題などを市民に分かりやすく示すことが重要であると認識しています。

10 あるが精一（無会派）

住民協議なく出された指導基準適合通知・協定書は無効！日野台データセンター問題を問う

問 市民に寄り添って対応している認識か。

答 調整会の開催や指導書交付など市として最大の行政指導をしています。

ごみ搬入路問題「提言書」への市の対応を問う

問 提言内容の詳細検討などを踏まえ、現行ルート継続を決定しました。

答 異常物価高の中で緊急の市民生活支援策を求める！

問 様々な対策を補正予算として計上しています。

答 増員と業務のＤＸ化などにより支援充実に取り組みます。

生活保護ケースワーカーの過重労働環境を問う

11 島谷広則（日野みらい）

ボール使用ルールなど市民参画でさらなる公園の魅力を引き出そう！「公園ストックマネジメント」に着手せよ

問 公園内の野球場エリア区画フェンス撤去の理由と今後の対応を問う。

答 常設ネットは適正管理が困難なため撤去し、移動式などを検討中です。

問 公園ストックマネジメントの検討を問う。

答 管理方法などの転換期であり、設備などの課題を見据え検討します。

学校給食アレルギー対応を、問う。（学校給食の公会計化、栄養教諭等配置について）

問 大規模校への栄養教諭などの増員を問う。

答 都からの追加配当がない限り考えていませんが、市教育委員会事務局在籍の栄養士２名による支援体制を整えています。

12 みねぎし弘行（公明党）

中東での戦争を起因とする物価高騰・原油不足、高騰対策について

問 市の指定ごみ袋の値上げについて問う。

答 今回の物価高騰による販売価格の値上げは考えていません。

不登校問題とギフテッドの子どもたちへの支援について

問 チャレンジクラスなどによる学校の出席状況改善の割合を問う。

答 令和７年度末時点で、36％の生徒の出席状況が入級前より改善しました。

心身障がい者の施設、グループホームの整備と相談体制について

問 重度障害者施設の空き状況把握について問う。

答 空き人数を中心とした利用状況の把握は、事業者側にも負担がかかるため、難しいと考えます。

13 ちかざわ美樹（無会派）

イラン戦争の影響から医療・なりわい・暮らしを守れ！

問 市の対応を問う。

答 国の動向を注視し、必要な施策を研究します。

北川原公園内ごみ搬入路「24年間継続使用」一方的な発表は希代の暴挙。撤回を！

問 ルート変更の社会実験の安全確保や理解・協力が得られない中、市が変更を推進することは、行政への不信、住民同士の対立を招く可能性があると判断しました。

重大事態！ミニバス減便、廃止案－市は総力上げて何としても維持・拡充を！

問 市としては、地域公共交通会議での意見を踏まえ、路線自体の廃止を避け、交通空白地域を広げないよう京王バスと協議してまいります。